

# 直ちに五輪中止決断を

## 自民・二階幹事長発言は重大

共産党の志位和夫委員長は、コロナ感染の「第4波」が深刻な状況にあるとし、東京五輪・パラリンピックについて「中止の決断を直に行い全ての力をコロナ収束に集中すべき」と主張しました。



記者会見する志位氏 = 15日

### 志位委員長が会見

志位氏は、自民党の二階幹事長が「五輪で沢山まん延させたということになったら何のための五輪か分からない」「とても無理だとなったら、スパッとやめなきゃいけない」と発言したことに触れ、「政府・与党は中止のことは一切

述べず、ひたすら開催に暴走する態度を続けてきた。その姿勢が破綻し、政府・与党の首脳として初めて中止に言及せざるを得なくなった」と指摘。「五輪開催はもう無理」「関係諸団体と話し合う責任を果たすべきだ」と強調しました。

折り目

比例代表

近畿ブロック(定数28)

### 2→4議席へ倍増めざします

比例近畿ブロック  
名簿登載予定者



- こくた恵二 党国会対策委員長 (衆院9期) 京都1区重複
- 宮本たけし 前衆議院議員 (衆院4期・参院1期) 大阪5区重複
- 清水ただし 衆議院議員 (2期) 大阪4区重複
- こむら潤 兵庫・前尼崎市議員 兵庫8区重複
- たけやま彩子 党京都府ジェンダー平等委員会事務局長
- 西田さえ子 党大阪府委員会 くらし・営業対策委員長

制度解説

衆院選挙  
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます  
小選挙区は「候補者の名前」で

比例代表は政党名で投票します。個人名は無効です。

## 国・府・市は命まもる責任果たせ

# 大阪医療崩壊危機

大阪のコロナ新規感染者が連日1000人を超え、「医療崩壊」に直面。共産党は「国は府・市と力合わせ、命を守る責任を果たせ」と要請しました。

### 医療者派遣・検査拡充を

共産党の山下芳生副委員長と清水忠史衆院議員は16日、厚労省に対し①国による大阪府への医療従事者の派遣②検査の抜本的な拡充一を要請しました。

山下氏は「重症者に対応できる医師・看護師派遣」を要請。検査に対する政府



厚労省の担当者(左側)に要請する山下氏(右から2人目)と清水氏(右端)

の消極的姿勢が影響し、大阪でも検査が抑え込まれてきたとし、「医療崩壊を進行させないため、無症状の感染者からの感染を抑え込み、検査の抜本的拡充が必要だ」と強調しました。

## 日本共産党

近畿民報

2021年4月 No.3(第45号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンブیس102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

閑散とした飲み屋街「大阪市天王寺(しんぶん赤旗提供)」